エンビタ

■資材の種類：農業用バイオスティミュラント資材
■有効成分：*Gluconacetobacter diazotrophicus*：＞5×10^8 CFU/g
■有効年限：2年
■包　　装：6.25g×20、（6.25g×20）×4箱

【特長】

- さとうきびより単離した微生物グルコンアセトバクター属を活用した作物栽培用補助資材で、処理後速やかに作物体内に取り込まれる。
- 植物細胞に内生し、空気中や土壌中の窒素を固定し、栽培期間を通じて作物にアンモニア態窒素を供給する。
- 様々な作物に使用でき、収量の増加（肥大、果実のなり疲れ防止）、品質の向上（旨味成分、糖度上昇）が期待できる。
- エンビタ 6.25g で 50a 分の作物に使用可能。

【使用方法】

6.25g(1 袋)で
作物 50a 分に
使用可能。

※使用直前に開封し、
開封後は速やかに
使いきる。

【事前準備】エンビタ濃縮液を作る

① 計量カップ等の容器に 300 ㎖程度水を入れる。
② エンビタを 6.25g(1 袋)入れ、よく溶かす。
③ 3 時間ほど常温で静置して、エンビタを目覚めさせる。

■ 移植水稲（50a に移植する育苗箱への使用例）

処理時期：育苗期（緑化期から移植 7 日前頃）

【手順１】
事前準備したエンビタ濃縮液を使用液量まで水で希釈する

50aに移植する育苗箱数	散布器等で噴霧する場合（30mℓ/育苗箱として計算）	ジョウロ等で灌注する場合（500mℓ/育苗箱として計算）
	使用液量	使用液量
60枚	1.8ℓ	30ℓ
70枚	2.1ℓ	35ℓ
80枚	2.4ℓ	40ℓ
90枚	2.7ℓ	45ℓ
100枚	3ℓ	50ℓ

【手順２】
希釈したエンビタを処理する

50aに移植する育苗箱に、【手順１】で希釈した使用液量を苗の上からていねいに処理する。

※ 農薬など他の資材と混用せず、エンビタ単用で処理する。
※ 灌水する場合は、処理したエンビタが乾いてから行う。

■ 園芸作物（50a に定植するセル成型トレイへの使用例）

処理時期：育苗期（移植 7 日前頃まで）

【手順１】
事前準備したエンビタ濃縮液を使用液量まで水で希釈する

セル成型トレイの穴数	50aに定植する株数	50aに定植するセル成型トレイ数	散布器等で噴霧する場合（50mℓ/トレイとして計算）	ジョウロ等で灌注する場合（500mℓ/トレイとして計算）
			使用液量	使用液量
128穴	20,000株	157枚	7.85ℓ	78.5ℓ
	23,000株	180枚	9ℓ	90ℓ
	25,000株	196枚	9.8ℓ	98ℓ
200穴	20,000株	100枚	5ℓ	50ℓ
	23,000株	115枚	5.75ℓ	57.5ℓ
	25,000株	125枚	6.25ℓ	62.5ℓ

【手順２】
希釈したエンビタを処理する

50aに定植するセル成型育苗トレイに、【手順１】で希釈した使用液量を苗の上からていねいに処理する。

※ 農薬など他の資材と混用せず、エンビタ単用で処理する。
※ 灌水する場合は、処理したエンビタが乾いてから行う。

■ 園芸作物（定植後、本圃 50a での使用例）

処理時期：生育期（生育期前半がおすすめ）

【手順１】
事前準備したエンビタ濃縮液を使用液量まで水で希釈する

10a当りに散布する水量	50a当りの使用液量
60ℓ	300ℓ
80ℓ	400ℓ
100ℓ	500ℓ
120ℓ	600ℓ

【手順２】
希釈したエンビタを処理する

本圃50aに、【手順１】で希釈した使用液量を動力噴霧器等でムラなく、ていねいに散布する。

※ 散布直後に降雨が予想される場合や強風時の散布はさける。

※ 農薬など他の資材と混用せず、エンビタ単用で処理する。

※ 窒素を多く含む液肥との混用はさける。

※一度に使用液量を調製できない場合は、エンビタ濃縮液を分けて使用する。

例）使用液量300ℓを100ℓずつ3回調製を繰り返す場合は、事前準備したエンビタ濃縮液1/3を水で100ℓに希釈する。

●育苗箱の場合

作物名	希釈方法		使用液量	使用時期	使用方法	期待される効果
箱育苗（育苗箱、セルトレイ等）稲、とうもろこし、レタス、非結球レタス等	50a に使用する育苗箱、セルトレイ枚数を計算する「必要枚数」	「必要枚数×500 ㎖」に「エンビタ濃縮液」を希釈する	500 ㎖/枚	育苗期（移植または定植７日前頃まで）	灌注	植物体にアンモニア態窒素を供給する

●生育期の場合

作物名	希釈方法		使用時期	使用方法	期待される効果
稲、とうもろこし、レタス、非結球レタス等	50a の使用液量を計算する「使用液量」	「使用液量」に「エンビタ濃縮液」を希釈する	生育期前半	散布	植物体にアンモニア態窒素を供給する

【効果・薬害等の注意】

- この製品は生菌を含むため、涼しく乾燥した場所に保管する。
- 使用直前に開封し、開封後は速やかに使いきる。
- 処理時および処理直後に降雨が予想される場合には使用をさける。
- 強風時には使用をさける。
- 有効期限内に使用する。
- 銅剤、抗生物質、ＨＲＡＣグループ４に属する除草剤とは混用しない。
- 窒素肥料、高濃度の農薬と直接混合せず、散布液調製時の最後に本剤を混合する。

【安全使用上の注意】

- 誤飲、誤食に注意する。
- 眼に入らないように注意する。
- 皮ふに付着しないように注意する。
- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、衣服を換える。作業時に衣服などは他と分けて洗濯する。
- 保管：開封前は、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所に保管する。
  動物の飼料等と隔離する。
  開封後は一度に使いきる。